

総合公園水泳場について

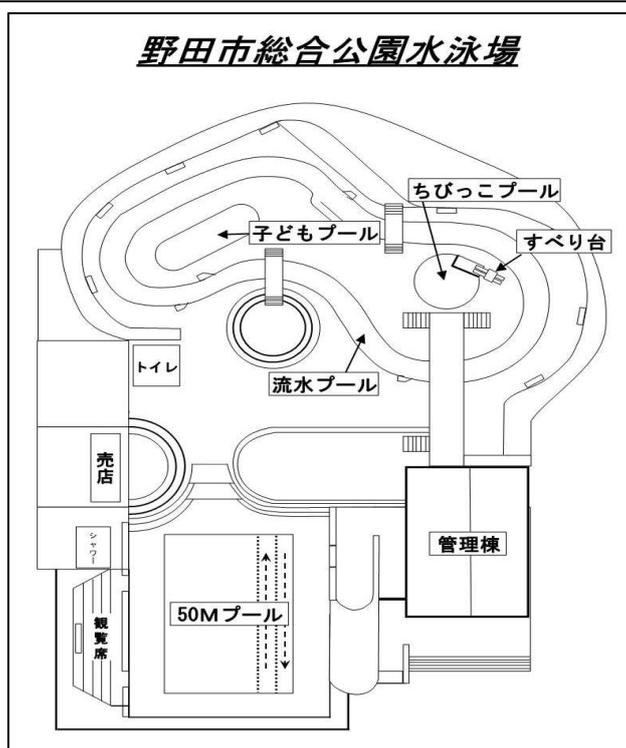
総合公園水泳場は、昭和 55 年の開場以来、市民が気軽に水に親しむことのできるふれあいの場として、幼児から一般の方まで幅広い年齢層の方に利用されてきました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年度と 3 年度は開場を見合わせ、4 年度の開場に向けての施設点検を実施しましたが、施設や設備の老朽化に加え、2 年間閉場していた影響もあり、利用者の安全を確保するには大規模な改修が必要な状況にあります。

屋外水泳場の標準的な耐用年数は約 30 年とされている中、総合公園水泳場は、開場から 42 年が経過しており、今後のあり方について抜本的な検討を行う時期であると考え、今後の整備方針（案）を作成しました。

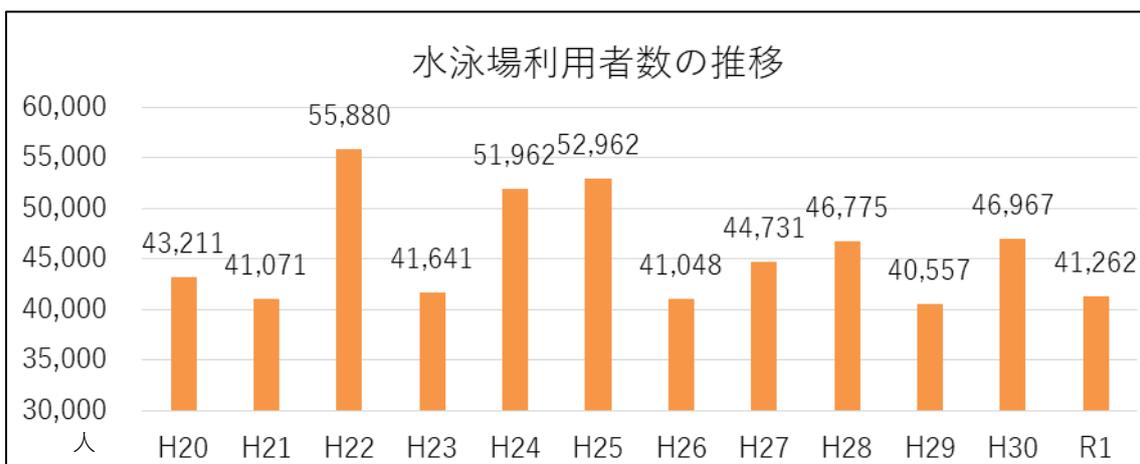
1 総合公園水泳場の概要

野田市総合公園水泳場	
所在地	野田市清水 9 5 8 番地
敷地面積	17, 953㎡
用途地域	第二種中高層住居専用地域
開設期間	7 月第 1 土～9 月第 1 日 9 時～18 時
施設概要	50m プール、流水プール、ちびっこプール、子どもプール
使用料	一般 710 円、中学生以下 280 円 一般 280 円、中学生以下 60 円（15 時以降）
開場年月	昭和 55 年 8 月
年間利用者数	約 44, 000 人／年（過去 5 年間の平均）



2 総合公園水泳場の利用状況

(1) 平成20年度以降の水泳場利用者数



利用者数については、年によりばらつきが見られ、特に台風などの天候や気温による影響などがそのまま利用者数の減少につながっていると考えられる。

また、傾向としては、平成26年度以降、6年間にわたり5万人を超えた年がないことから、減少傾向にあると考えられる。

さらに、近年の猛暑の影響や、コロナ禍での密を避ける意識も残っていることから、利用を控える人が増加することも予想される。

(2) 平成27年度～令和元年度の5年間の水泳場収支

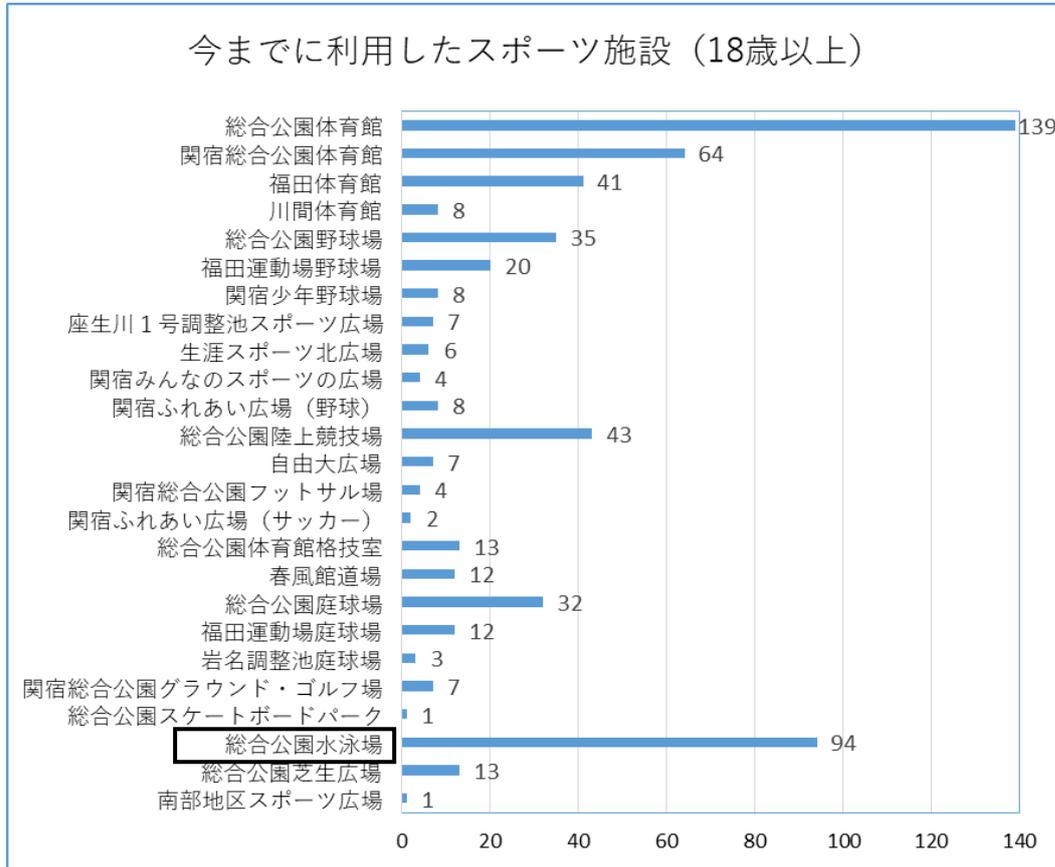
年度	開場日数	利用者数 (人)	使用料収入 (円)	管理運営経費 (円)	収支差額 (円)
H27	65	44,731	16,158,310	41,595,080	▲25,436,774
H28	65	46,775	16,683,930	38,798,523	▲22,114,593
H29	65	40,557	14,681,930	39,346,887	▲24,664,957
H30	58	46,967	17,722,960	35,624,219	▲17,901,259
R1	58	41,262	14,979,710	34,178,295	▲19,198,585
計	311	220,292	80,226,840	189,543,004	▲109,316,168

さらに今後の収支については、昨今の燃料費等の高騰の影響等により、収支差額は拡大する可能性がある。

3 市民アンケート調査の結果

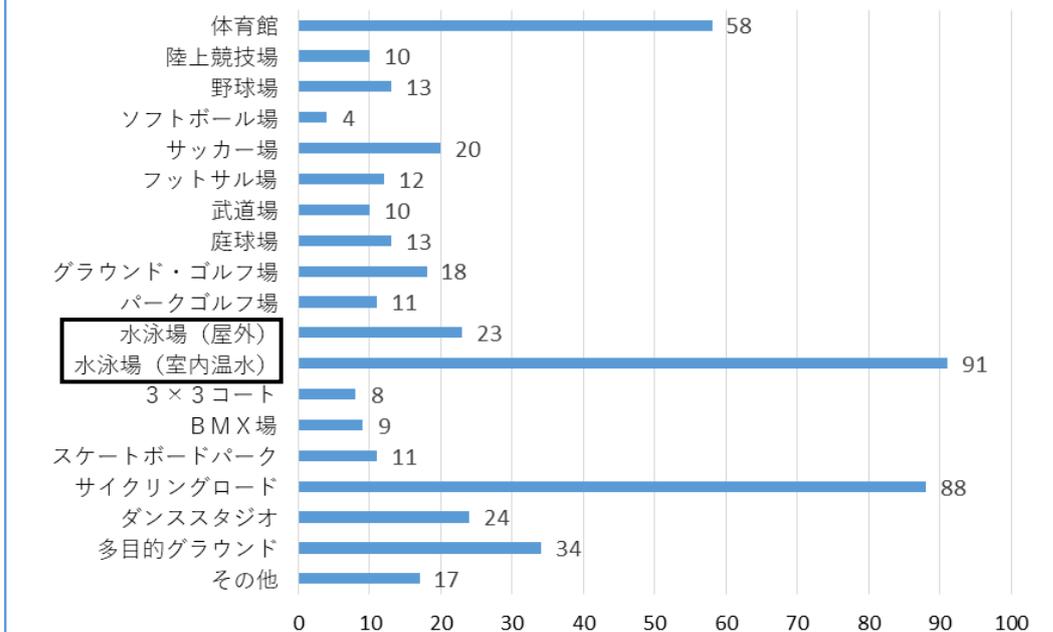
令和4年8月に18歳以上1,000名、12歳～17歳1,000名の計2,000名を対象に「野田市スポーツに関するアンケート調査」を実施した。

まず、18歳以上を対象とした「今までに市営スポーツ施設を利用したことがあるか。(複数選択可)」の設問に対し、総合公園水泳場は94件で、最も多かった総合公園体育館に続いて2番目に多い結果であった。



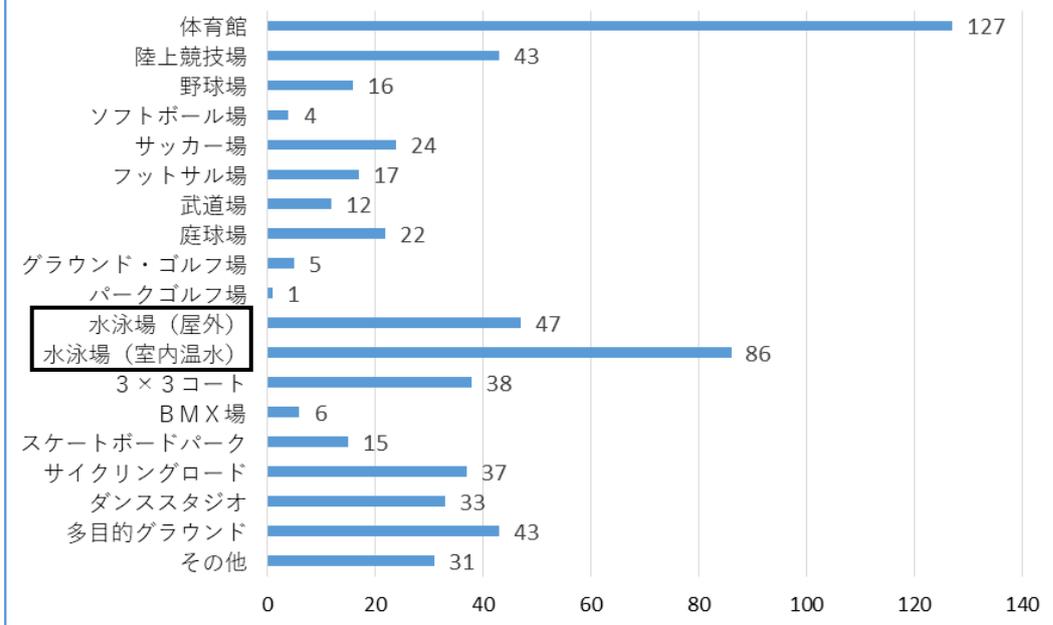
次に、「今後、野田市で新しく整備・充実させてほしいスポーツ施設はあるか。(3つまで○)」との設問に対し、18歳以上では、「水泳場(室内温水)」が91件で最も多かった。

整備・充実させてほしい施設（18歳以上）



また、12歳～17歳では、最も多かったのは「体育館」で、2番目に多かったのが「水泳場（室内温水）」で86件という結果であった。

整備・充実させてほしい施設（17歳以下）



4 総合公園水泳場の今後のあり方について

総合公園水泳場については、昭和55年に開設して以来42年が経過していることから、更衣室やシャワールーム等がある管理棟のほか、プールサイドの地面や鉄橋など、施設全体を改修する必要がある。

水泳場は利用期間が夏季の2か月程度であることや、大規模な改修をするには全体で7億円近く経費がかかり、費用対効果という観点から施設の再開は非常に困難であり、また、他の自治体を見ても同時期に建設された屋外プールは軒並み廃止の方向にある。

しかし一方で、市民アンケート調査の結果からも、市民のプールに対する要望は多く、特に室内温水プールの要望が多かったことから、総合公園の水泳場は廃止をするが、新たに1年を通して利用できる室内温水プールの整備を検討していく。

■今後の整備方針（案）

- 新たに一年中利用できる室内温水プールを整備し、市民の健康増進と憩いの場とする。
- 整備にあたっては、まずは、学校プールの老朽化も問題となっていることから、将来的に学校の水泳授業の受け入れも視野に入れ、施設の規模やコスト、PFIを始めとする整備手法の検討も含めた調査業務を委託して実施する。
- 室内温水プールの建設を優先して行い、残りの敷地は、総合公園全体として付加価値の高い施設整備を検討していく。